



教育委員会だより

「多久から発信!SDGs⑫」

「西溪校でのSDGsへの取り組み」

(東原 彦 西溪校9年 西山 響 西)

私たちは、令和3年度から校則の見直しに取り組みました。取り組むようになった理由の一つに「男女で制服が違う」ことがありました。これまでに、女子から「スカートは寒い」「男子はズボンでうらやましい」「就職試験に行く女性だつてズボンなのに」という声が聞かれていました。校長先生から、西溪会(児童生徒会)に対して「校則を見直したいけどどう?」という話があったとき、私は生徒の声を校則に反映できるチャンスだと思いました。

校則見直しの会議では、性別にかかわらずズボン・スカートを自由に選べるよう決定しました。また、夏服の上を、洗濯しやすく丈夫な男女兼用ポロシャツにしました。さらに、靴下は汚れが目立たない黒色や紺色をはいてよいようにし、靴も白色や黒色を基調としたものを認め、運動をする人には走るのに適した靴を選べるようにしました。

今、7年生を見ると、女子のうち3分の1くらいがズボンの制服を選択しています。靴下や靴は、黒色などを普通に見かけます。西溪会長として、後輩のために大きなことを成し遂げたと誇らしい気持ちになります。次の世代の西溪会のメンバーにも、自分たちで西溪校の未来をつくるんだという気持ちをもって、全力で活動してほしいと思います。



連載

野の仏ギャラリー ④

地藏菩薩立像

西多久町大字板屋

光背と立像は一石から造られています。立像は嵌め込み式で、別造りの蓮華台に立てられています。光背は、円形の頭光と舟形の身光からなっています。頭部は丸く、額に白毫があります。右手は手首から折損していますが、左手は宝珠を包むように持っています。袈裟(僧祇支)の下方に左右対称の衣文が刻まれています。地藏菩薩は、六道「地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天(上)」に迷い悩む衆生を救済するとされます。

銘「三界萬靈」諸人志施主天心敬白「天明五乙巳三月吉日」



○菩薩は、本来悟りを開く前の修行中の者を称します。  
○白毫は白い毛で、光明を放ちます。  
○宝珠は願いをかなえる不可思議な玉です。

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

- 暑いねと挨拶すると忘れずに  
田んぼの廻りは彼岸花咲く  
梶原恵美子
- 過去からはリストラされて 未来から  
スカウトされる 僕の人生  
野崎 隆幸
- 握手して去りゆく娘の手ひと月を  
我れに食事をととのえくれし  
尾形 節子
- 息の家の庭に月満ち更けてゆく  
夜は静かなり天高かりき  
浦野 嘉恵
- 帰り道の明るさに見上ぐれば  
思わぬ低さに名月昇る  
川浪 信子

俳句 《大石ひろ女選》

- ひぐらしの隣の木より鳴き始め  
武富 律子
- 夕刊の届く時間やいわし雲  
中嶋 清子
- 一日を終へ高窓の星月夜  
富樫 明美
- 川下る舟ゆつたりと秋惜しむ  
本村 則子
- 秋天や棚田仕舞の五目飯  
おおやはな

川柳 《多久川柳会 互選》

- 半世紀かかり短かい新幹線  
田代まつこ
- 無駄骨はひとつも無い父の声  
井上 東子
- マスク顔眼の表情が活きている  
西山 残月
- 不慮の事故納得出来ぬ骨拾う  
高塚チカ子
- 葬式は生きてる人の為にある  
松下 修